

◎桜井谷窯跡群で須恵器発見!

今年2月、宮山町4丁目の桜井谷2-2号窯跡から、古墳時代後期の須恵器約120点が窯に詰まったまま発見されました。出土した土器は市で保管され、調査や研究が進められます。



出土したふた付きの器。大きいもので直径約17センチメートル

ふるけと巡りを  
するぞ!



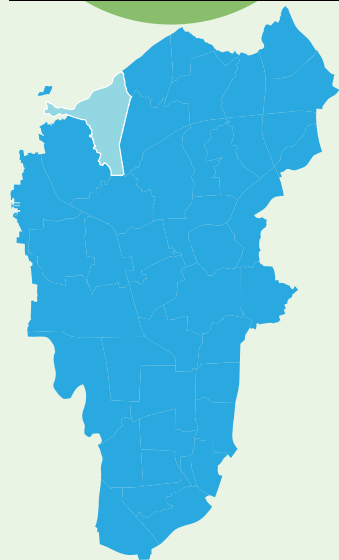
マチカネくんと歩く

# まちある記

第13回

農村の面影を残す大学のあるまち  
柴原町から待兼山町へ

桜井谷小学校区



## 古くからのツツジの名所

### 4 春日神社(宮山町1丁目)

江戸時代に桜井谷6か村の鎮守となった春日神社。一帯の雑木林に群生していたコバノミツバツツジは、地域の人たちに守り育てられ、毎年4月上旬に公開されます。



4

宮山

豊中  
豊中  
豊中

◎村営バスを走らせた村

昭和7年(1932)から2年間、豊中駅前から桜井谷を通って箕面までの街道(現在の府道豊中亀岡線)約10キロメートルを、桜井谷村営バスが走っていました。通勤・通学や村で採れたタケノコの出荷などに利用されていたそうです。



## 樹齢400年を超えるソテツ

### 3 安楽寺(柴原町5丁目)

高さ5メートル、幹の回りが5.5メートルもある1本のソテツ。沖縄や九州南部など暖かい所で育つ植物が、ずっと北の豊中で大きく育つのは珍しいと市の天然記念物に指定されました。



このまちにはかつて、農業用の池がたくさんありました。今はその場所に大学や病院、公園や住宅などが建ち並んでいます。その中で自然を残す待兼山はマチカネくんのふるさと。見晴らしを楽しみながら、まちを散策してみませんか。

## 待兼山でマチカネワニに会う



### 5 大阪大学総合学術博物館 (待兼山町)

ロビーに7メートルものワニの化石!? これはレプリカですが、館内には約45万年前に生息し、この地で発見されたマチカネワニの実物化石も展示されています。マチカネくんはこのワニがモデル。博物館の建物は、昭和6年(1931)に建設され、国の登録有形文化財に登録されています。また、市民も参加できる「サイエンスカフェ」を開催しています。



ここで発見されたんだ

### ◎東庵先生って?

江戸時代、麻田藩の医師でありながら村人たちの病の治療に明け暮れ、コメや衣服などを与えることもあったという園井東庵。安楽寺にある墓には今でも素朴な野の花が供えられています。

市ホームページ「都市の語りべ」でも紹介しています。



## 恵みの池は、安らぎの池に

### 1 柴原駅周辺(柴原町4丁目)

このまち最大のため池だった二尾池は大部分が埋め立てられ、そこに大阪モノレール柴原駅、柴原体育館、市立豊中病院などが建設されました。かつて暮らしを支えた地域の水源は、交通、文化、医療の拠点となり、駅前広場のレリーフが池の歴史を今に伝えています。



## お花見も、お祭りも

### 2 見徳山公園(柴原町5丁目)

住宅地の中にあるこの公園には、広場や広い滑り台、砂場があり、大きなケヤキの木陰は憩いの場になっています。夏祭りやクリスマスの催しも行われるこの公園の名前は、この地に古くからある寺の山号から名付けられたそうです。



6月号は、庄内南小学校区をご紹介します。お楽しみに。